

被爆者1000人以上の声を録音した伊藤明彦さん(音声作家・調布)が再注目

今年には戦後80年、昭和でいえば100年である。戦争の悲惨さと平和について考える節目の夏になる。広島・長崎の被爆者の声を聴き録音し続け、数々の音声作品を残した伊藤明彦さん(2009年世界、享年72)の仕事ぶりが再注目されている。復刊本が出され、伊藤さんをモデルとしたテレビドラマもこの夏にNHKで放映される。

早大を卒業後は長崎放送に就職し、1968年にラジオ番組「被爆を語る」の初代の担当者に。1970年に退職後は8年間、重い録音機を持ちながら全国の被爆者の声を聴き取り録音。1980年に「未来からの遺言—ある被爆者体験の伝記」を出版。2006年に「ヒロシマナガサキ私たちは忘れない」(CD9枚組、約8時間)を制作し、全国の547の団体・施設に自費で寄贈。これらの功績から日本ジャーナリスト会議賞特別賞、2008年に吉川英治文化賞を受賞した。調布では2006年に「被爆者とはたれか」の演題で西部公民館で講演をしている。

7月5日に文化会館たづくり8階で講演と映像「未来からの遺言」が開かれた。第1部は生前の伊藤さんの仕事ぶりが紹介され、被爆者の声とショッキングな映像が流され衝撃を受けた。第2部は著作を復刊した西浩孝さん(長崎在住・編集室水平線)の講演。進行役を務めた石黒紀子さんは「お住まいは国領でした。被爆者の声を聞き、その実相を伝えた人が調布にいたことを忘れないでほしい」と話す。8時間に及ぶCDは西部公民館に残されている。(大泉清)

都立神代植物公園の大温室、夏の夜に公開

夏休み入りに連休が重なった7月20日(日)、21日(祝)の夕刻から、神代植物公園で「大温室夜間公開」が開催された。一夜限りの幻の花サガリバナをはじめ、日が暮れてから開花する、香りが強くなるといった珍しい熱帯植物を間近で鑑賞できる機会とあって、あわせて7千人が来場した。なかでもサガリバナには一目見ようと長い行列ができ、ばら園噴水の周りではシャボン玉とライティングによるバブルミネーションが幻想的な世界を描き出した。また、深大寺の僧侶11名による「天台声明(てんだいしょうみょう)」が披露され、夏の夕べに荘厳な声楽が響き渡った。園路では軽食やドリンクを販売する夜カフェも開かれ、縁日のような賑わいを見せていた。



次回の夜間公開は9月14日(日)、15日(祝)。

【FC東京応援記】

7月のリーグ戦は5日に上位の柏に惜敗し、19日の浦和レッズ戦は5月に逆転負けした悔しさを晴らす気合のこもった試合で3-2と勝利し14位と降格圏争いから少し上昇しましたね。天皇杯の大分戦も2-0と勝利し次に進みました。長友選手の言葉にあったように東京の魂を見せられて悲観的な雰囲気だったスタジアムに期待が戻ってきました。補強選手の活躍にベテランが刺激され、泥臭く部活サッカーのようだと思われた体を張って守り、走り負けずにゴールに向かう東京のスタイルは昔からのファンでなくても魅力的に写ると信じています。(東京イチロー)

ちょびット

No.48



調布社協 インフォメーション

第37回調布市福祉大会を開催し、社協の事業をはじめ、福祉活動やボランティア活動などを行っている方々に表彰状・感謝状を贈呈します。今回は、地域のみなさんの交流の場づくりを進める「ひだまりサロン」事業の20周年記念式典を併せて開催します。みなさんのお越しをお待ちしています。

日時:10月9日(木)午後2時~3時30分

場所:文化会館たづくり「くすのきホール」

共催:共同募金調布地区協力会

問合せ:企画調整係 ☎042-481-7617

2025年8月 番組表

＜調布市民放送局の番組を見ることができます＞



◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」で放送中！

調布 C A T C H J:COM 111chにて1日2回放送

テレビ番組

月	火	水	木	金	土	日
8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25
1日 15日	<p>① 調布国際音楽祭2025 ～音楽の旅へ～ 調布のビッグイベント、調布国際音楽祭2025が6月21日スタート。多くのコンサートが開催されました。オープニングコンサートでは、出演者全員およそ160名による「Take the“A”Train」が演奏されました。グリーンホール小ホールでは飲食と音楽が同時に楽しめるミュージックカフェがオープン。鉄道マニアでもある鈴木優人さんの特別企画、「鉄道×音楽」が開催され、鉄道関連の音やメロディーを楽器で再現。音楽祭のために編曲された「Take the“KEIO”Train」も初披露されました。</p>					
16日 31日	<p>① 夏休み特番 Take the “KEIO”Train！「調布市内列車接近メロディーの旅」 先日、調布国際音楽祭2025で新しく編曲された「Take the “KEIO” Train」が初披露されました。 そこで今回は過去に放送された「接近メロディーの旅」を夏休み特番として再度お届けします。早速出発しましょう！</p>					

ラジオ

「調布わくわくステーション」(毎週月曜日、21時45分～22時00分)			
調布 FM:83.8MHz HPからは、インタビューの様子を映像でご覧いただけます。どうぞお楽しみに！			
月	放送日	内容	ご紹介
8月	4日(再放送) 11日(再放送)	宮本苑生の『詩の世界』 田中美千代さんの詩の朗読	田中美千代詩集から「揚羽蝶」「ベンチ」「カタツムリ」「シルエット」「夕日」「断念」「その日」「鳥が鳴いている」「日傘」の朗読をお届けします。朗読:峯田里香子
	18日(放送前編) 25日(放送後編)	ゲスト:京王電鉄(株)代表取締役社長 都村智史さん	調布市内を走る唯一の電車、京王電鉄社長の都村さんに今後に向けての街づくりについてのビジョンや対応をお聞きします。インタビューア:真山勇一

HP

インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。👉 調布市民放送局で検索
<http://chofu-catch.or.jp/> (公式HP)
 (すべての番組2015年～現在まで)
<http://chofu-catch.sakura.ne.jp/> (アーカイブサイト)
 (すべての番組2004年4月～2015年3月)
<https://www.facebook.com/chofubroadcast> (フェイスブック支局) (2015年～)



【公式HP】

【アーカイブサイト】

【フェイスブック支局】



ホンモノの警察官は SNSでの連絡は絶対にしない

警察官を騙る詐欺が特殊詐欺の本流になっている。今まで以上に注意が必要だ。調布警察署(電話042-488-0110)では「ホンモノの警察官はSNSでの連絡や逮捕状を画像で送る、金銭の要求などは絶対にしません。怪しい電話と思ったら、すぐに相談してください」と注意喚起。

避難場所までの道を ハザードマップで事前に確認

線状降水帯など短時間豪雨になると、多摩川にそそぐ用水路や小さな河川で水が溢れだすことがある。調布消防署(電話042-486-0119)では「滝のような雨で道路が冠水して移動が困難に。大雨の前にハザードマップで浸水しやすい場所や避難場所までの道を確認しておきましょう」と呼び掛け。



＜ご意見・ご感想をお待ちしています＞ 同合わせ先 <http://chofu-catch.or.jp/contact> ☎ 090-5576-1429
 郵便 〒182-0022 調布市国領町 2-5-15、調布市民プラザあくろす 2階 市民活動支援センター-気付
 [編集・発行] NPO 法人調布市民放送局 (事務所) 〒182-0035 調布市上石原 1-48-14